

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	24318
事業名		就業サポートセンター等事業費					
評価担当課		所属名	経)産業振興部 雇用労働課				
		課長名	佐々木	担当者名	鷲田	電話番号	011-211-2278
施策名	主	安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されると					
	副						
アクションプラン		● 対象 ○ 対象外			戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外	
事業の性質		○ 経常経費 ● 臨時的経費					
		○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	求職者を対象に、就職に役立つセミナーやカウンセリングなどの再就職支援を実施する。また、求職者と求人企業のマッチングを図り、早期の就労を目指す。				
		長期	全区で職業相談・紹介のサービスを受けられる体制を維持し、求職者一人ひとりが希望する形での就職を実現する。				
	取組内容	ハローワークなどと連携して、就業サポートセンター（北区）、あいワーク（北区を除く9区）に設置した窓口において、求職者向けに職業相談・紹介、情報提供を行う。 ①就業サポートセンター：官民共同窓口による職業紹介サービスを提供するほか、セミナー等による再就職支援事業、スキルアップ支援・職場体験を活用した就職支援を実施。 ②あいワーク：区役所の住民サービスとハローワークの職業相談・紹介サービスがワンストップで提供できるよう札幌市とハローワークが連携して就職支援を実施。					
	実施結果	令和4年度の本事業主要実績（就業サポートセンター・あいワーク合算値）は以下のとおり。 利用者数：延べ66, 611人、相談件数：延べ63, 846件、紹介件数：13, 255件、就職件数：4, 086人					
事業実施における工夫点		新型コロナウイルス感染症の影響により、離職等を余儀なくされた方を支援する専門窓口及び当該感染症の影響によりアルバイト等の収入が減少した学生向けの相談窓口による支援を継続した。また、オンラインを活用したWeb面接に必要な知識やスキルの習得を促す専門的な施設を常設化した。					
対象者		求職者			開始	平成16年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等		職業安定法、雇用対策法					
他都市の状況		官民共同窓口による職業相談・紹介サービスを実施しているのは、本市だけである。あいワークのような雇用対策法に基づき国と連携して、就労支援をワンストップで行う一体的施設は、広く他都市でも実施されている。					

◎事業費

（単位：千円）

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		184,148	195,000	185,866	195,000
うち特定財源		14,000	0	14,699	0
人工		1.2	1.2	1.8	1.8
人件費		8,640	8,640	13,176	12,993
計(事業費＋人件費)		192,788	203,640	199,042	207,993
事業費 の内訳	令和4年度決算	①運営委託費(就業サポートセンター、あいワーク):141,951千円、②就業サポートセンター関連事業:22,425千円、③社会保険手続等相談事業:3,539千円、④サーバー保守管理等:3,252千円、⑤新型コロナ特別就業専門相談窓口の運営及び学生サポートデスクの運営等:14,699千円			
	令和5年度予算	①運営委託費(就業サポートセンター、あいワーク):142,888千円、②就業サポートセンター関連事業:41,181千円、③社会保険手続等相談事業:3,831千円、④サーバー保守管理等:7,100千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	就業サポートセンター・あいワーク利用者数							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		82817	100000	66611	100000					
活動指標2		指標名	高齢者向けセミナー参加者数(令和4年度まで)							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		80	264	175	—					
成果指標1		指標名	就業サポートセンター・あいワークを利用した者の就職件数							
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
		4198	5300	4086	5300					
成果指標2		指標名	就業サポートセンターの再就職支援の就職者数(令和4年度まで)							
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
		255	300	307	—					
項目	判定	理由								
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用者数は当初予定の100,000人を下回る66,611人(対前年度比▲19.6%)となった。また、利用者の減少に伴い、全体の就職者数が対前年比で2.7%減少したが、就業サポートセンターにおける再就職支援事業の就職者数について、目標300人に対して実績307人となった。								
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	感染症や物価高騰に起因する離職者等が増加傾向にある現況においては、恒常的かつ継続的に就労支援サービスを提供する必要があること、また、近年、求職者数に占める高齢者の割合が高まっている状況を鑑みても、職住近接を求める傾向のある高齢求職者への支援を十分に実施するためには、市内全区に就業サポートセンターやあいワークのような常設の就労支援窓口を設置し、札幌市として雇用のセーフティネットの役割を担う必要がある。								
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業における支援メニューは多岐に亘り、就業サポートセンターのほか国と一体的に実施しているあいワークにおいても、より実効的な就労支援が求められている。このため、広範で専門的なノウハウを有する民間事業者の中から、本事業の受託者を公募型企画提案により選定する方式は適切な実施手法といえる。								
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	就業サポートセンターの就職支援セミナーの参加者808名及びスキルアップ講座の受講者184名に対して実施したアンケートでは、当該サービスが「役に立った」と回答した方の割合はどちらも100%と対象者全員が役に立ったと回答しており、本事業の支援メニューに対する対象者の満足度は非常に高いといえる。								
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☒ 反映					
今後の改善点	物価高騰などを契機とした経営不振に伴う離職者等の増加や少子高齢化による生産年齢人口の減少等の喫緊の課題解消に向け、高齢求職者への就労支援強化や求人者・求職者双方に対しての雇用機会の創出が求められるが、人員や予算といった限られた行政資源をどのように配分すれば事業効果を最大化できるのか引き続き検討していく必要がある。									
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
今年度取り組んだ見直し内容	高齢者の雇用機会の創出のため、事業者側から採用したい高齢求職者を選出するスカウト型のマッチングを実現するよう「シニア人材バンク」を新たに開設した。			見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
評価の理由	コロナによる外出自粛などの影響により、利用者数の減少に伴い就職者数も目標を達成することはできなかったが、本事業の支援メニューであるセミナー参加者及びスキルアップ講座の受講者計992名の満足度が100%となっており、利用者のニーズに込えられているものと評価する。									
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 令和5年度に開設したシニア人材バンクに係る登録事業者向け特設ページの機能を充実させることで、更に活発なスカウトを実現する等、高齢者向けの就労支援を強化するとともに、多様な働き方に労働者が対応できるような支援策の検討、既存の就労支援メニューの内容について、より効果的になるよう見直しを行う。								
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 利用者属性やニーズの変遷に応じて事業内容は随時見直ししていくが、回復傾向にあるものの未だコロナ感染拡大前の回復には至っていない雇用情勢下に柔軟に対応するには、現状と同規模の事業予算が必要である。			見直し効果額	0	千円			